

1. 基本情報

体験談記入日 (☆)	2018年 5 月 24 日
情報提供者氏名	
性別	
大阪大学での所属学部/研究科 (☆)	経済学部
留学時の学年 (☆)	二年九月～三年四月
派遣プログラム名 (☆)	<input checked="" type="checkbox"/> 交換留学 <input type="checkbox"/> 研究留学助成金 <input type="checkbox"/> その他 ()
渡航先国名・地域名 (☆)	カナダ
滞在都市 (☆)	バンクーバー
留学先大学等名 (☆)	University of British Columbia
留学先での所属学部/研究科 (☆)	Sauder School of Business
留学先で主に使用した言語	英語
渡航先への入国日 (☆)	2017年 9 月 2 日
渡航先からの出国日 (☆)	2018年 4 月 26 日
渡航先国での滞在期間 (☆)	八ヶ月
同伴者の有無・続柄・年齢等	無
その他	

2. 留学先の大学に関する情報

2. 1 授業に関する情報

履修科目名称	Introduction to Marketing
履修期間	Term1 (9月～12月)
授業時間 (○分×△回)	90分×24回
授業形態 (講義・セミナー)	講義
取得単位数	3
履修科目名称	Quantitative decision making
履修期間	Term1
授業時間 (○分×△回)	90分×22回+60分×10回
授業形態 (講義・セミナー)	講義とセミナー
取得単位数	3
履修科目名称	Exploring the Universe: The Solar System
履修期間	Term 1
授業時間 (○分×△回)	60分×33回+60分×12回
授業形態 (講義・セミナー)	講義とセミナー
取得単位数	3

大阪大学経済学研究科/経済学部
部局間協定校派遣生の海外留学体験談

履修科目名称	Marketing Analysis
履修期間	Term2 (1月～4月)
授業時間 (○分×△回)	90分×22回
授業形態 (講義・セミナー)	講義とグループワーク
取得単位数	3
履修科目名称	Introduction to Strategic Thinking
履修期間	Term2
授業時間 (○分×△回)	60分×33回+60分×12回
授業形態 (講義・セミナー)	講義とセミナー
取得単位数	3
履修科目名称	Introduction to Systematic Program Design
履修期間	Term2
授業時間 (○分×△回)	90分×12回+60分×12回
授業形態 (講義・セミナー)	講義とセミナー
取得単位数	3
履修科目名称	
履修期間	
授業時間 (○分×△回)	
授業形態 (講義・セミナー)	
取得単位数	
履修科目名称	
履修期間	
授業時間 (○分×△回)	
授業形態 (講義・セミナー)	
取得単位数	
履修科目名称	
履修期間	
授業時間 (○分×△回)	
授業形態 (講義・セミナー)	
取得単位数	
履修科目名称	
履修期間	
授業時間 (○分×△回)	
授業形態 (講義・セミナー)	
取得単位数	
留学生 (日本人) の割合	自分以外に、クラスに一人いるかいないか
成績評価の方法 (試験・課題の)	予習復習は必須。課題というよりは読む量が多かった。教科

数や分量等)	書を自分で読んで事前に小テストをインターネット上でうけてから授業に出るスタイルの講義が多かった。
履修科目の制限等 (あれば)	Sauder の授業に関しては Quantitative Decision Making を履修していないと履修できない科目が多数あった。
(英語圏以外の場合) 英語の使用頻度、英語での授業科目の充実度等について	
語学に関するサポート(特別授業、チューター、イッテイティングに関するサポート等)	希望すればあった。
授業内での留学生に対するサポート等	特になし
その他	

2. 2 福利厚生に関する情報

大学内での福利厚生施設(生協・購買・食堂)について	生協は使用しなかった。飲食店は多かったので毎日のように使った。
図書館について	大きなものが二つ。あまり使わなかった。
保健センター等の有無	大学内病院がある。
クラブ・サークル等について	たくさんある。オリエンテーションの日に紹介があるのでそのときに仮登録をしておくが良い。
留学生へのサポート	International house があったので基本的にそこに行ったがそれほどためにはならない。
オリエンテーション等学校主催の行事について	9月のはじめに有り。
現地の学生との交流について	
他の留学生との交流について	
学外での活動について(地域コミュニティ活動等)	
長期休暇中の過ごし方	冬休みは帰国した。
その他	

3. ビザ・入国・渡航直後の手続きに関する情報

ビザの種類 (☆)	Study permit
ビザの取得手続きについて(申請方法、申請から取得までの所要期間等) (☆)	インターネットで手続き

利用航空会社	JAL
入国の際の現地空港名	バンクーバー国際空港
空港から滞在先への移動について（交通手段や所要時間）	タクシーで 30 分
入国審査について（提示した書類、審査官からの質問等）	Study Permit を見せる
渡航後の手続き（在留届の提出、外国人登録等）	Study Permit の実物の申請を入国後空港で行う。（とても混雑するので時間に余裕が必要）
その他	

4. 金銭に関する情報

奨学金の受給	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
奨学金名	大阪大学未来基金グローバル化推進事業「交換留学奨学金（派遣）」
奨学金月額受給額（円）	5 万
入国時に用意した金額	
クレジットカードについて（カード会社名・日常の利便性）	VISA
留学中に利用した銀行名	RBC
現地での銀行口座開設について（開設の有無・手続き等）	有
デビットカードの使用について	毎日使用
日本からの送金方法について	
1ヶ月の生活費（目安）	
その他	

5. 暮らしに関する情報

5. 1 住居に関する情報

住居の種類（学生寮（一人部屋・二人部屋）・アパート等）	学生寮、一人部屋
家賃	11 万
住居を探した方法・時期	1 月
荷物の運搬方法（ハンドキャリー、国際宅配便（会社名、プランも）等）	スーツケース
その他	

5. 2 食生活についての情報

普段の食事（自炊・食事つき学	自炊、昼食はキャンパス内で購入
----------------	-----------------

生寮等)	
1ヶ月の食費	五万程度
その他	

5. 3 その他日常生活に関する情報

電話について	
インターネットについて (Wi-Fi 環境等)	寮の Wi-Fi は弱かった。大学内の Wi-Fi 設備は整っていた。
コンピュータについて	持参
郵便について	
交通機関について	
治安について	比較的良い。キャンパス内は非常に良い。
保険について	
医療機関・薬について	
気候と服装について	冬の間はずっと雨。
普段の買い物について	キャンパス内のスーパー、キャンパスのすぐそばのスーパー
娯楽・行事について	
日本語の使用について	
日本から持参して特に役立ったもの/持参したら良かったもの	常備薬、長靴
留学前にしておいて良かったこと/しておけば良かったこと	
その他	

6. 就職活動に関する情報

留学前の就職活動について (セミナー参加、自己分析、業界研究、就活サイト登録等)	
留学中の就職活動について (海外からの情報収集、企業へのコンタクト、インターンシップ等)	

7. 語学の学習方法について

留学前に準備したこと、語学能力試験対策等	TOFLE や IELTS を受験、対策は過去問。
留学中の学習方法、工夫したこと等	

留学後にどれぐらい語学力が伸びたか（主観的な実感や具体的なスコア等）	読むのが速くなった。語学を学習しに行ったわけではないので自分の専門分野への興味が深まったことのほうが重要であると感じる。
------------------------------------	--

8. その他

留学して得られたこと	更に学習したいという意欲、関心が高まった。
留学中に困ったこと	おいしい日本食が食べられなかったことがストレスだった。
留学前/留学中に参考になったウェブサイト等	

9. 留学体験談・エッセイ（様式任意）

留学を決めた理由、現地で履修した授業およびその感想、楽しかったこと、大変だったこと、これから留学を考えている後輩へのメッセージ等を1～2ページ(様式任意)で記載してください。また、留学中に撮影した写真数枚（本人も映っているもの）も合わせて提出してください（国際交流室のHPやNewsletterに掲載させていただく可能性があります）。

入学して間もない八ヶ月にもわたるブリティッシュコロンビア大学への交換留学を通して大変多くの成果を得ることができた。授業の内容を中心に体験談を書こうと思う。

まず、最も興味があったマーケティングという分野をふたつの授業を通して学習し、留学前よりこの分野に関しての興味が深まった。9月から12月にかけて受講したIntroduction to Marketingでは、実際に長い間複数の企業でマーケティングを行ってきた先生からマーケティング戦略における理論、またそれらを実践的に扱うための手法をグループワークや授業内のディスカッションを通して学んだ。この講義によってマーケティングという学問的な分野をより身近に感じることができるようになり、さらに深く学びたいと考えるようになるきっかけになった。また、1月から4月にかけてはMarketing Analysisというさらにマーケティングを深く扱う講義を受講し、授業内では具体的なケーススタディを扱った学習をし、さらにグループワークとしてマーケティングシミュレーションを行うことでマーケティング戦略における決定に関する学習を行った。マーケティングの理論をより実践的な形で戦略決定に活かすだけではなく、グループ内でディスカッションをする力も鍛えることができた。この講義を通してマーケティングだけではなくデータを中心にマーケティングにおける分析に興味をもつようになった。

これらのマーケティングに関する授業だけではなく、ゲーム理論やプログラミングの授業も履修し、自分が興味のある分野だけではなくそれに関連した内容も学んだ。実際マーケティングの内容はもちろんだが、プログラミングの授業で学んだ事も帰国後の授業や今後の進路に活かすことができている。

さらに、自分の専門とは関連がないが幼い頃から興味があった宇宙に関する授業も履修した。太陽系に関する文系向けの授業で受講人数は100人ほど、教授との距離も近く毎回一番楽しみな授業のひとつであった。なによりも特徴的だったのは個性的な教授の奇抜なファッションに独特の喋りで、第一回目の授業から大変惹きつけられる講義であった。さ

らに驚くことに予習は不要。その理由は「一回一回の授業という物語を楽しんでほしいから、オチを先に知ってほしくない」とのこと非常に感銘を受けた。なお講義にはCG映像を効果的に取り入れており、宇宙というスケールの大きな話でも例えば宇宙の大きさをピザの 10^{27} 倍である、など身近に感じられるような工夫がされていた。その中でも一番印象に残っているのは彗星のことについて学んだ講義で、教授が実際に彗星もどきを授業内で作ったことだ。授業の最中に突然エプロンとコック帽をかぶり、ユーモアなジョークを交えつつ土やアンモニア、液体窒素は大学側の許可が下りなかったため代わりに用意されたドライアイスを混ぜて固め、岩石のようなものを作って見せてくれた。教授は彗星にそっくりだと自信満々に言っていたが、私達生徒にはいまいち伝わらなかったのがまた面白かった。しかし実際に目の前で、教授がいつも授業に持ってくるコーヒーを含めて様々な物を混ぜて作っていたので、彗星が塵や氷の塊であるということは非常に印象に残った。ハロウィンのときには力士の仮装をするなど、今までの学生生活で間違いなく一番個性的な教授で、今後宇宙のことを考えるときに彼のことを思い出さないことはないだろうと思う。

どの授業も最後の講義で先生が挨拶をしたあと拍手喝采が起こり、非常にびっくりした。Introduction to Quantitative Decision Makingの教授は250人の生徒一人ひとりと握手をするなど、教授と生徒の距離や関係というものに驚きを覚えた。今思い出してみても確かにどの授業も拍手したくなるような素晴らしいものばかりであったと思う。

授業以外の面ではバンクーバー周辺の観光地にいたりダウンタウンでショッピングをしたりして満喫することができた。季節的に雨の日が殆どで外出をする気にならない日が多かったが、そんな中でも十分楽しめたと思う。また、バンクーバーというのは多種多様な人の住む街で、アジア人も多いせいかなり海外にいるという実感がわかかなかったのが印象的である。個人的にはこれはとても良いことであり、つまりバンクーバーはどんな背景を持った人間であっても溶け込むことのできる素晴らしい街であるのだと思う。

幅広い授業の選択肢の中から興味関心を中心に履修と学習を行ったが、それぞれの内容でコネクションを作ることができ、しっかりとそれを自分のものにすることができた。またSauder School of Businessで開講される授業を多く履修することで、非常に能力の高い学生たちと一緒に学ぶことができ大きな刺激を受けることができた。帰国後のモチベーションをしっかりと保ちつつ、学んだことを一生涯に渡って活かし続けられるよう今後も学習を行いたい。今後UBCに留学に行かれる方はぜひ自分の興味関心を中心に積極的に履修をし、個性的な教授とハイレベルな生徒たちで作り上げられているUBC、それからSauderの授業を満喫してほしい。